



久保圭一写真展

三重県尾鷲市九鬼町。リアス海岸の深い入り江に佇むこの小さな漁村は、古くから海と共に歩んできました。

村の生業の核となるのが、「大敷」と呼ばれるブリの定置網漁です。魚を追いかけるのではなく、網を仕掛け、海の恵みが入り込むのを静かに待つ。それは、人間の思い通りにはならない海と真っ直ぐに向き合い、自然の巡りを受け入れる営みです。

人智の及ばない海を相手にするからこそ、この地には深い祈りが根付いています。網を引く力強い漁師の姿と、受け継がれる祭りの熱気。生業と神事は、村の暮らしの両輪として息づいています。

ファインダーで見つめたのは、自然への感謝と営みの力強さです。写真から九鬼の風と、人々の息遣いを感じていただければ幸いです。

2026年3月16日(月) ▶ 4月16日(木)

(最終日は午前中のみ)

休館日：土曜・日曜・祝日・休市日 (基本水曜日)

※臨時休館の場合がございます。詳しくは web サイトでご確認ください。

開館時間：10時～14時

銀鱗文庫

www.ginrinkai.jp



九鬼

海神の恵み
受け継がれる祈り
ブリ大敷の村